

地域づくりインターン事業報告

首都圏を中心に4名の大学生がインターン生として、本町で農業体験や住民の方々と一緒に地域づくり活動に約2週間取り組みました。インターン生とは、地域での生活を通して住民の人たちと一緒に地域づくり活動に取り組むことにより、お互いの特長を吸収しあい、相補的な効果を生む取り組みを行う事です。地域に長年住んでいれば中々感じられない景色や人と人のつながり、食材や田舎のよさをインターン生を通じて発掘できました。今年度受け入れをしていただいた家庭をはじめ町民の方々に多大なるご協力を頂きました。ありがとうございました。

〔 中島 亜由美 〕

法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニティ学科 2年
【期間：8月6日～8月18日】

約2週間のインターン活動は本当にあっという間でした。役場の方や受け入れ先の家庭の方など沢山の方と出会って、色々な話をして、この短期間に今までにないくらい多くの方と関わることができました。振り返ってみると、錦江町のみなさんの温かさを感じながらいつの間にか楽しくて仕方がない活動になっていました。

色々な体験をした中でも、やまんなか音楽会に参加したことで何かをみんなでやり遂げることの意味や人とのつながり・絆を感じることができました。また、活動を通して地域づくりを学ぶためにフィールドに出て実際に体験するという貴重な時間を過ごせたこと、自分なりに成長が



できたのではないかとということに感謝しています。私自身、民泊で得たものも多くあり、これからも民泊ができる錦江町であってほしいです。

歓迎会の時に言われた「インターン活動がスタートラインではなくて、活動が終わって錦江町を離れてやっとスタートラインに立つ。」という言葉は印象的で考えさせられるものでした。インターンをきっかけに、今後どうやって錦江町と関わっていくか、この経験をどう活かしていくかを自分自身の課題としたいと思います。役場の方々、受け入れ先の方々、本当にお世話になりました。ありがとうございました！錦江町が大好きです！

〔 三好 修 〕

法政大学 社会学部 社会政策科学科 2年
【期間：8月6日～8月20日】

私は錦江町に来る前は、とにかく緊張していました。鹿児島県に行ったことがなく、ホームステイもほとんどしたことがなかったので、期待の半面、不安も感じながら、緊張しながら錦江町へとやってきました。

しかし、インターンの活動を終えた時には、その緊張はとても昔のように感じました。錦江町の町民の皆さんはとにかく面白く、そして温かい方々だと実感し、その方々に囲まれて、自分もいつの間にか、故郷のように安心して活動出来ていたように思います。

この度ホストファミリーとして受け入れて下さった遊喜さん、壱崎さんやそのご家族・役所・青年団等の多くの方々にお世話になりました。ありがとうございました。そして、皆さんが関東から来た私を明るく迎えて下さって、すごく嬉しかったです。



今回は多くの方々とお話をさせていただきましたが、錦江町の皆さんが錦江町への愛や情熱を語っていたのがとても印象的でした。私もその話を聞いて、胸が熱くなりました。

大自然が広がる錦江町で、その自然の魅力を大いに満喫しました。その大自然がなす風景は、また足を運んで観たいと思いました。

ただ、それと同時に今回錦江町の皆さんと色々な話をして、再び錦江町に足を運び、皆さんとまたお話をしたいとも思いました。ぜひまた錦江町に来たいと思っておりますので、その時はまたよろしくお願ひします！

